

3類型	農林水産物	通巻番号	3-25-222
地域資源名	ぶどう	認定日	平成26年2月3日
地域	山梨県甲州市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：軽量パッケージに入った彩り豊かでなめらかな濃縮ぶどうピューレの開発・販売

会社名：有限会社ぶどうばたけ

所在地：山梨県甲州市勝沼町菱山1425

連絡先：TEL：0553-44-0356

H P：http://budoubatake.net/

FAX：055-213-5974

事業概要(新たな活用の視点)

本事業では、ぶどうを原料として「濃縮ぶどうピューレ」の開発、製造、販売を行う。ぶどうの加工品を製造する場合、ぶどうに含まれる酒石酸がカリウムと結合し、結晶化することで食感にざらつきが生まれるという課題がある。新商品はこの課題を安価に解決する手法を確立し、色・香り・味わいの異なる品種のぶどうの特長を生かした商品とする。なお、パッケージに関しては、消費者からの少量・個包装(軽量)のニーズを取り入れる。

また、原料とするぶどうは、加工用として栽培することで、求められる味などの品質は保ったまま、省力化、低コスト化を実現する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

本事業で開発する「濃縮ぶどうピューレ」は、原料の栽培から加工・販売まで、ほぼ一貫して当社が行うため、安全・安心を求める消費者の声に応えることができる高品質な商品である。

◆市場性

果物の加工品自体は多種多様に存在しているが、ぶどうの加工品に関しては、酒石酸に起因するざらつきや、原材料費が高いなどの理由により、一般的に大手企業の参入がない。この問題を、独自の製造方法とぶどう栽培方法により解決することで、今後の市場拡大が期待できる。

◆販路

自社直売店のほか、山梨県への観光客を対象にお土産店で販売する。また、県内外の展示・商談会に出展し、販路拡大を図っていく。

地域資源における関係事業者との連携

商品開発に際して、地元レストランのシェフからアドバイスをもらうほか、成分分析については、山梨県工業技術センターに協力を得ている。

加工用としてのぶどう栽培は、山梨県果樹試験場から栽培ノウハウ提供などの協力を得て実施する。



【彩り豊かなぶどう】



【ぶどうピューレ試作品】



【ぶどうの栽培風景】